

待望のオープン

環境を主眼とした「いこいの場」

本格的な野球場を設置

光スポーツ公園が4年の歳月をかけ、3月27日に竣工式を迎え、4月1日に待望のオープンをしました。この公園は、水と緑豊かな環境を主眼に、21世紀に大きく羽ばたくための目玉事業として、町民の皆さんに交流の機会を提供し、子供からお年寄りまでが、気軽に楽しく利用できる「いこいの場」として建設されたものです。

ひかりの広場には噴水モニュメント「響」

光スポーツ公園の面積は約6.8haで、総事業費は16億1185万円が投資されました。

照明灯6基を備え、スタンド収容人員500人の本格的な野球場です。芝生広場は、照明灯及び野外ステージがある他、キャンプ場などが設けられています。その他にも、カラー舗装のローラースケート場と壁打ちテニスのある自由広場やアスレチック広場があります。また修景広場と名付けられた公園東側は、鐘の音で「春の小川」「夕焼け小焼け」など四季の童謡25曲を奏でる噴水モニュメント「響」、町の花「桜」を植樹したさくらの森広場、遊具のあるチビッコ広場があります。野球場を挟んで西側には、修景池広場とアスレチック広場をつなぐ長さ21m、幅3mの歩道橋「メロディブリッジ」があり、橋の欄干をたたいて渡ると、「赤とんぼ」と「ふるさと」の曲が流れる仕組になっています。更に管理棟にはミーティングルーム・シャワールーム・事務室が備えられています。

とても広く水と緑が調和されている

光スポーツ公園に行くと驚いた事は、とても広いうえに水と自然の緑とが調和され、何とも言えない景観だったことです。そして、公園内の施設

は、ひかりの広場のモニュメントを始め、どれをとってみてもすばらしく子供からお年寄りまでのだれもが楽しめるよう随所に工夫がされています。

オープンをしたあかつきには、家族みんなで「ふるさと」の公園に行き楽しい一日を過ごしたいと思います。



橋場 澄子

